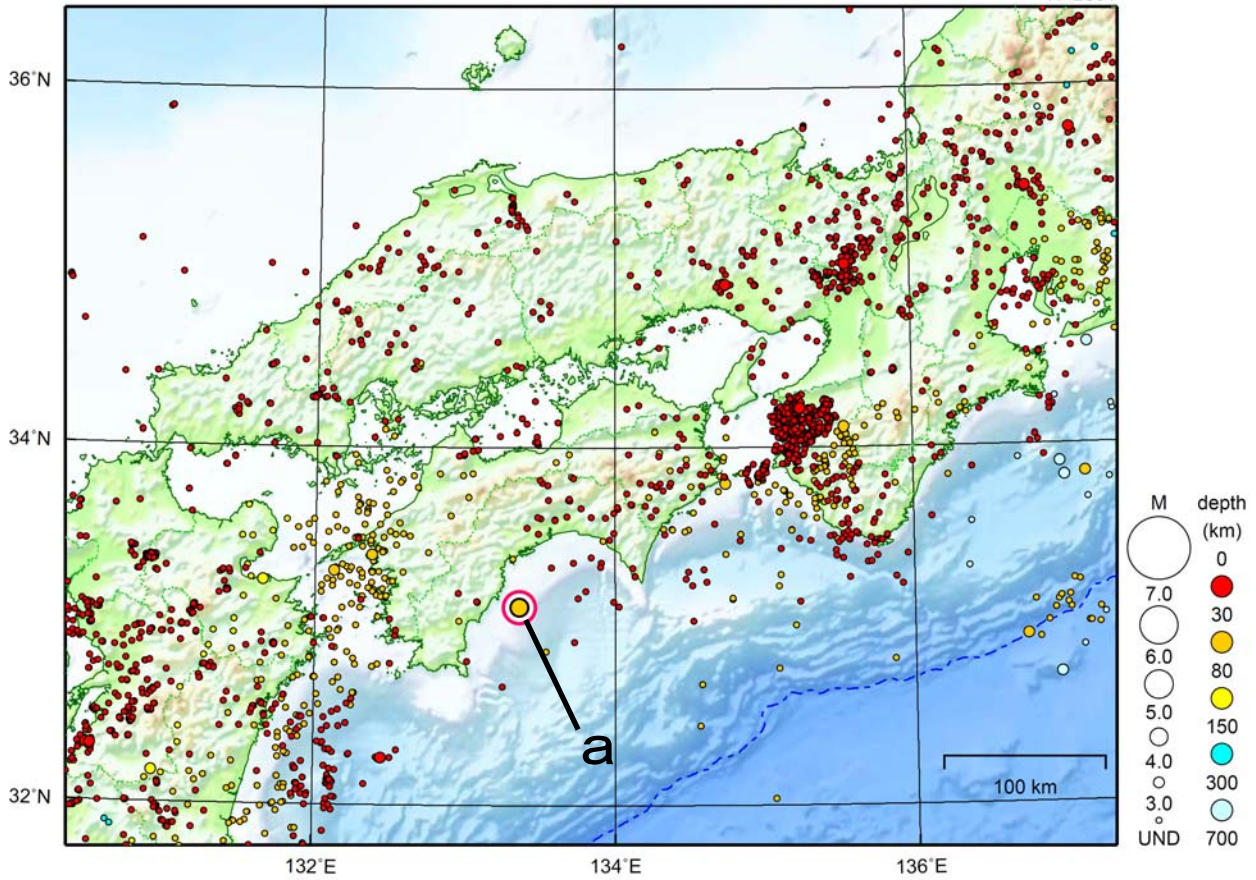


# 近畿・中国・四国地方

2009/12/01 00:00 ~ 2009/12/31 24:00

N=2801



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

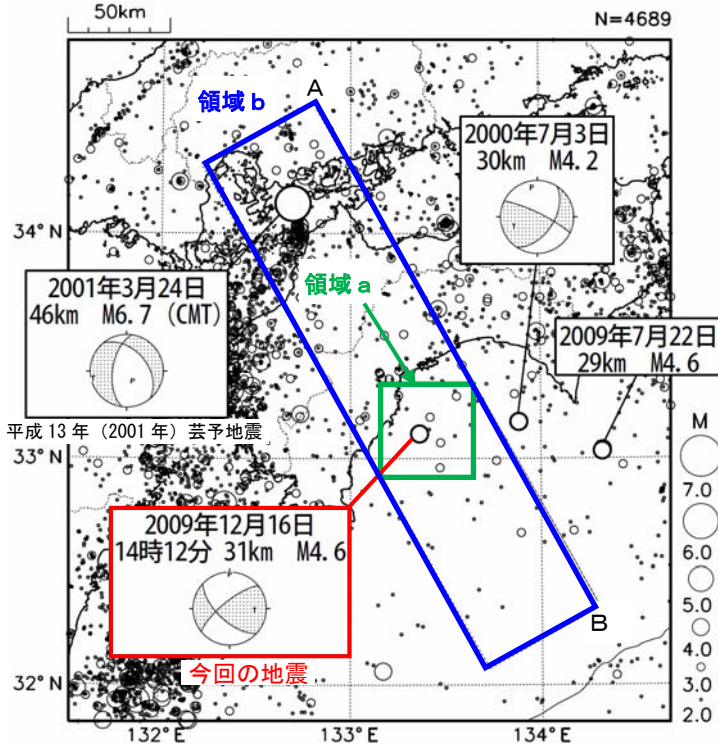
a) 12月16日に土佐湾でM4.6の地震(最大震度4)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 12月16日 土佐湾の地震

震央分布図

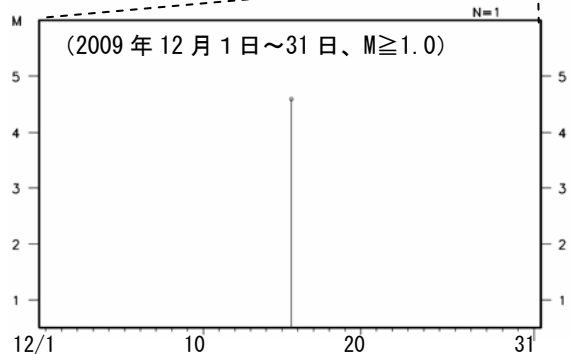
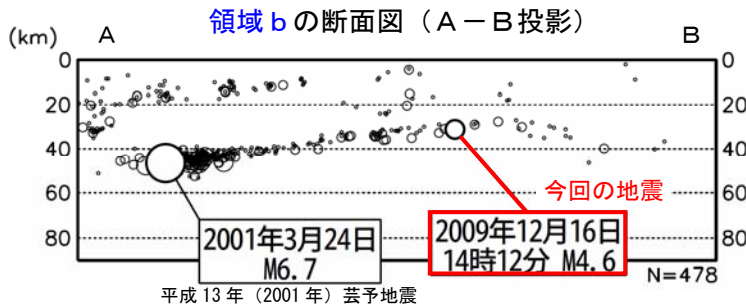
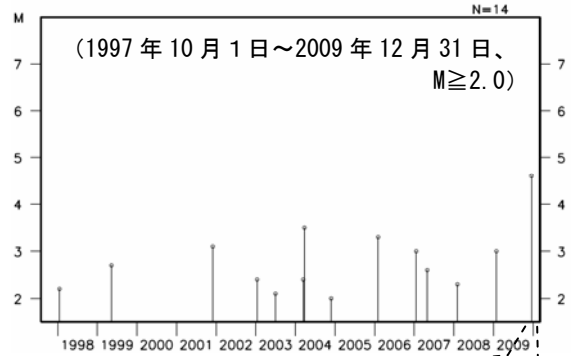
(1997年10月1日~2009年12月31日、深さ0~90km、M $\geq$ 2.0)



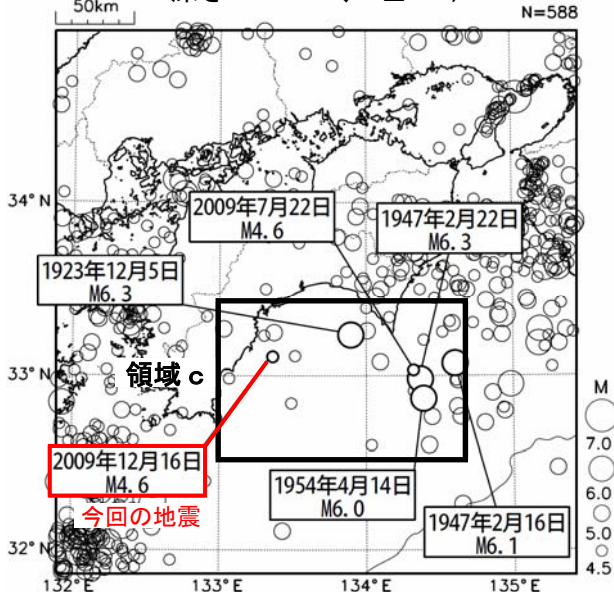
2009年12月16日14時12分に土佐湾の深さ31kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。余震活動は観測されていない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内の地震活動経過図

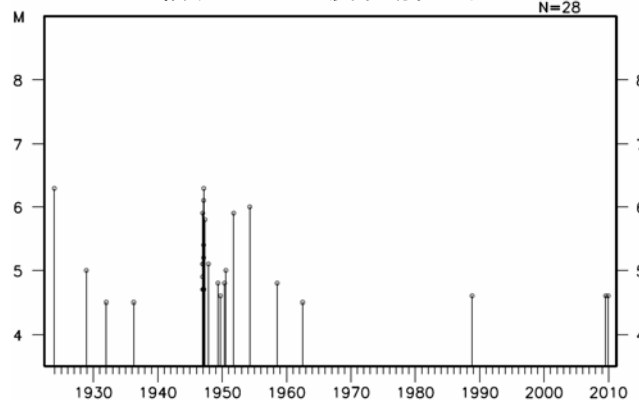


震央分布図 (1923年8月~2009年12月、深さ0~90km、M $\geq$ 4.5)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、1946年の南海地震(M8.0)の後やや活発であったが、その後は静穏に推移している。

領域c内の地震活動経過図



気象庁資料